

グローバル化なのに英語を話さなくても問題ナシ！？ 日本語の話せる外国人を育成・派遣する人材サービス始動 将来、日本文化を母国に輸出してもらうことが目的

株式会社インフォテクト(所在地:東京都港区赤坂、代表取締役社長:生田昇)は、フィリピンの政府機関、DTIの協力の下、フィリピンの経験豊富なエンジニアを日本へ招致し雇用。

開発受託や、お客様先へ常駐してお仕事をするSES案件などで、英語に特化したプロジェクトにアサイン致しております。フィリピン現地の民間組織にて数百~千人規模で招集されたエンジニアを、一人一人のスキルや人間性、日本での適性も考慮してインフォテクト担当者が現地に出向いて厳選。高いグローバルスキルが求められ、入社条件の厳しいと言われているSMART社、PLDT社、Verizon社等での経験者を来日させ、日本に貢献頂いております。

フィリピン最高峰の『フィリピン大学』や、日本でも有名な『ラ・サール大学』出身者を揃え、テクノロジーが多様化している昨今、ハイスペックSE/プログラマーのニーズにお応え致します。

■インフォテクトの提供する『外国人エンジニア』の3つ特徴

●日本語の話せるプログラマーをフィリピンセブ島にて育成！

日本語能力試験N3レベルの教育をフィリピンセブ島にて実施。小学校卒業レベル、中学入学レベルの日本語を習得した上で来日致します。その後も日本での語学トレーニングを実施し、N2レベルの日本語の習得を目指しております。

●日本で開発を受託。セブ島にて日本の開発手法、試験フェーズを習得！

ICT企業(日本でいうdocomo、au、SoftBank)経験者、外資系企業経験者を現地で採用。高いスキルのエンジニアに日本式の開発手法と様々な試験フェーズを経験して頂いております。

これまでは「外国人=安い」といった印象がありましたが、業界の常識を打ち破り、高スキルのエンジニアのみを厳選し、日本式の開発手法と試験フェーズを理解、経験した外国人を取り揃えます。当然ながら、最先端のグローバルスタンダードの開発手法も元から習得済みであるため、日本の開発現場に効率的な開発手法を導入することも可能です。

●日本語では解決できない英語ネイティブならではの問題解決能力！

Apple、Google、Microsoft、Oracle、Ciscoなど、現在のIT技術は、そのほとんどが英語をベースとしたテクノロジーです。英語の読み書きができない場合、日本語に翻訳されたホワイトペーパーが出るまで待たなければならないため、リアルタイムに問題解決することが困難です。英語ネイティブのエンジニアの場合、ベンダーへ直接英語でアプローチしたり、ベンダーが用意しているフォーラムに直接英語で参加できるため、リアルタイムに問題解決することが容易です。

プロジェクトを任せられるレベルになると、英語ベースのベンダー製品を使ってる以上、英語スキルのアドバンテージがある分、日本語だけのエンジニアよりも問題解決能力が高くなる傾向があります。

■お試し期間

フィリピンセブ島では、待機しているSE/プログラマーが数十名いるため、2016年12月末まで、お試し期間として特別価格をご用意しております。日本語能力や、スキルレベルを、特別価格にてお試しください。

■今後の計画について

IT関連のスタッフだけでなく、他業種での展開も計画しております。「安価な労働力」を目的とはせず、英語を活かすことで日本人スタッフよりも貢献しやすい業種の企業様とのパートナーを求めています。

■ 本サービス・プレスリリースに関するお問合せ ■

株式会社インフォテクト 広報担当: 皆川恵真(KEIMA MINAGAWA) / セブ支店長: 遠藤祐之(YUJI ENDO)

TEL: 03-6667-5660 URL: <http://www.infotect.co.jp> Email: pr@infotect.co.jp

〒106-0052 東京都港区赤坂1-4-3 グランジュール赤坂ビル5F 設立: 2004年4月 資本金: 1億6,218万円(準備金含)